東京学芸大学附属世田谷小学校
夏期現職セミナー

学びの源泉にある遊戯の価値を探究する

- 教育におけるエッセンシャルな要素の抽出 -

2021.8.20 FRI 14:00-17:00

奥村 高明
日本体育大学
児童スポーツ教育学部
児童スポーツ教育学科教授

晋平太
ラッパー，日本ラップ協会

細川 江利子
埼玉大学
教育学部教授

主　　催　東京学芸大学附属世田谷小学校　体育部
申し込み　申込フォームより（http://ptix.at/ezLUBI）※QR コードよりアクセス可能
問合せ先　東京学芸大学附属世田谷小学校 庄司 佳世：shojika4@u-gakugei.ac.jp

2021 年夏

関係者各位

東京学芸大学附属世田谷小学校
体育部

夏期教育セミナーの開催案内

緊急事態宣言が解除されたものの，感染者数は未だ拡大しており，社会は一向に落ち着いておりません。そのような中，学校現場においては，いかに安全を確保しながら授業実践を行っていくかということに苦慮しております。特に実技を伴う美術や音楽そして体育に関しては，これまで行っていた学習活動に制限がかかり，昨年度に続きカリキュラムの変更を余儀なくされている学校も多いことと思います。そのような中，「他者とともに学ぶことの意味」が改めて問い直され，多様な意見や考えが表出されています。

以上のような状況を鑑みると，子どもたちの学習権の保障はもちろんのこと，私たち教員の学ぶ場もできる限り設定することが求められます。そこで今夏も，体育に限らず幅広い視点で『学び』について考え，多くの先生方が少しでもご自身の授業づくりにつなげていただくことができるよう，セミナーを開催いたします。

1. 日時　2021年 8月20日金曜日　14:00－17:00

2. 方法　状況を鑑み，オンラインによる実施といたします。

3. テーマ『学びの源泉にある遊戯の価値を探究する －教育におけるエッセンシャルな要素の抽出－』

4. テーマ設定の理由

コロナ禍における感染予防対策として，オンラインによる授業が一般的に展開されるようになりました。それは，高まる ICT を存分に活用し，現代の状況に合わせた効果的な方策と言ってよいでしょう。それはまた，学校における授業だけにとどまらず，本セミナー同様に研究会や会議への全国各地からの参加を促進しています。これまで対面を当然のこととして含みこんでいた協働的な取組も，必ずしも同じ空間にいなくとも可能となりました。並行してオンデマンド配信による授業や講座も増えてきていることから，共通の課題に取り組む者同士が時間をともにしないことも十分に起こり得ます。しかしながらその一方で，同様の時空間に共存し，他者と直接的にかかわりながら物事に働きかけていくことの意義や価値も主張されているのです。

そのような状況の中だからこそ，「他者とともに学ぶことの意味」を改めて問い直したいと思います。ただ，「他者とともに学ぶことの意味」と一言で言ってもそれは非常に広い論題であり，その領域は多岐にわたります。そこで本セミナーでは「学びの源泉にある」ものを「遊戯」とし，その「価値を探究する」ことによって，「教育におけるエッセンシャルな要素の抽出」を試みることを目的とします。この試みは，講義を聞くだけの一方向的な作用では実現し得ません。講師の提案を聴いて思考を巡らし，自分の考えをもちながら他者と議論すること。つまり，相互作用することによってこそ，この試みは可能となります。まさしくその行為自体が，「他者とともに学ぶことの意味」を掘り下げ，了解することにつながるのではないでしょうか。

5. 内容

（1）趣旨説明@メインセッション

（2）各講師の主張@メインセッション

（3）各講師との対話@ブレイクアウト

（4）ブレイクアウト内容共有@メインセッション

（5）質疑応答@メインセッション

6. 登壇者プロフィール

奥村　高明

日本体育大学児童スポーツ教育学部教授

83 年宮崎大学教育学部卒業。

同年宮崎県教員となり、同県内の小中学校や宮崎大学教育学部附属小中学校で美術教諭として勤務した。

2002 年から 04 年まで宮崎県立美術館学芸員。

05 年より文部科学省教科調査官（美術）として、習指導要領作成や評価規準づくり等に携わった。

11 年より聖徳大学教授、14 年より同大学児童学部長。

18 年より現職。98 年宮崎大学大学院教育学研究科修士課程修了。

2010 年芸術学博士（筑波大学）。

美術教員や学芸員として、美術教育や美術鑑賞分野を長年にわたって研究。

国内外の学芸員と幅広く交流するなど、海外の事情にも詳しい。

晋平太

フリースタイル(即興)でのラップバトルを得意とし、数々の大会で王座を獲得。

伝統ある「B-BOY PARK MC BATTLE」を始め日本最大規模のラップバトル「ULTIMATE MC BATTLE」で 2 連覇を達成するなど、その功績は快挙にいとまがない。

HIP HOP 界の活動に留らず、フリースタイルの伝道師として内閣府や自治体、企業等と組み全国各地でラップ講座を開催。

日本語ラップを通じての子供を対象とした自己啓発など、社会貢献を意識した普及活動を行っている。

細川　江利子

埼玉大学教育学部教授。

同大学ダンス部を指導し、

全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）創作コンクール部門第1位文部科学大臣賞（2012・14）、NHK 賞（2006・08・15?18）等多数受賞に導いた他、

東京新聞主催全国舞踊コンクールでは優秀指導者賞(2016・17)を受賞。

自身は幼少より大柴洋子、大学では片岡康子に師事。

平成 5 年度 （社）現代舞踊協会制定新人群舞賞、

第 19 回埼玉県舞踊コンクール洋舞踊 1 部第 3 位(1986)、

ヨコハマコンペティション（前身の神奈川県芸術舞踊祭含む）第1位(1991・93 ・98)等。